

コファス、今年上半期の好調を受け、 取引信用保険への再集中化戦略を維持

売上げ増加の加速と
コンバインドレシオの改善が
財務基盤を強化

2011年度上半期の業績は、コファスの回復と、2011年3月に発表した「事業を取引信用保険に再集中化する」という経営方針の妥当性を裏付けるものとなった。コファスは、拠点のある66カ国で展開している事業活動に完全な戦略的見直しを行なった結果、取引信用保険との相乗効果と収益性をベースに、コア・ビジネスと非戦略的金融ビジネスを区別することができた。

2011年度上半期には以下のような改善が見られた:

- 取引信用保険は国際的に、殊に新興諸国において伸びている
- 取引信用保険との統合に成功したことで、高い利益水準できわめて有利かつ競争力の高いポジションを得ているドイツとポーランドにおいて、ファクタリング事業が再び注力されている
- 取引信用保険のニーズに応えるべく、情報サービスと債権回収サービスを新たに方向付けている

1-主要数字

2011年度上半期は、コファスの戦略事業部門の売上が7億6,400万ユーロに上り、対前年同期比8%増となった。2011年6月末におけるコンバインドレシオは12.5ポイント改善し78.3%であった。これは損害率が引き続き低下した事によるものである。その結果、純利益は121%増加して6,400万ユーロとなった。

(単位:100万ユーロ)	2010年	2011年	対前年同期比	
	上半期	上半期	(単位:100万ユーロ)	%
総売上	708	764	56	8%
⇒取引信用保険	669	714	45	7%
うち保険料収入	561	601	40	7%
⇒ファクタリング	39	50	10	27%
損害率	65.2%	52.5%	- 12.7 pts	
費用比率	25.6%	25.8%	+ 0.2 pts	
コンバインドレシオ	90.8%	78.3%	- 12.5 pts	
当期営業利益	53	87	+34	65%
純利益	29	64	+ 35	121%

2. 売上高

2011 年度上半期は 売上高の伸びが加速した。

すべての地域が売上高の成長に貢献した。特に新興諸国での伸びは顕著であったが、先進諸国においても、新興市場ほどダイナミックではない経済状況と、より競争の激しい市場状況の中にもかかわらず、強い発展を遂げた。

(単位:100 万ユーロ)	2010 年 上半期	2011 年 上半期	対前年同期比(%)
北ヨーロッパ	209	219	5%
うちドイツ	173	185	7%
西ヨーロッパ	224	234	5%
うちフランス	170	177	4%
その他ヨーロッパとアフリカ	160	178	11%
うちオーストリア	26	30	17%
うちイタリア	74	89	19%
北アメリカ	46	48	4%
南アメリカ	28	35	27%
アジア太平洋	41	50	22%
売上高	708	764	8%

取引信用保険の半期売上は 7%増であった。増加の原因は、好業績が持続した結果、新規顧客の大幅増(+17%)に繋がったことと、契約維持率が 86%から 90%にまで改善したことにある。

ドイツとポーランドでは、ファクタリングの強いダイナミズム(売上高は 27%増)が確認された。

3. 営業利益

前年度の水準に依然として近いとはいえ、保険金支払請求額は僅かに増加した。適切な保険引受方針による、全体的なエクスポージャーを増加(+7%)させることで保険契約者を支え続け、保険金支払請求額を許容範囲内に収めることに成功した。損害率が 52.5%であったことは、前年同期(65.2%)よりも事態が好転したことを示している。保険料に対する事業費率は 25.8%で安定していた。全体として、コンバインドレシオは 78.3%となり、前年 6 月末に比べて 12.5 ポイントの改善であった。

難しい環境の中で、投資ポートフォリオの収益は 2,100 万ユーロであり、平均ポートフォリオのパフォーマンスは 2.3%であった。

当期営業利益は 8,700 万ユーロで 65%増となったが、これには取引信用保険の利益率が回復したことに加えてファクタリングの好調も大きく寄与している。

4. 純利益

純利益は 6,400 万ユーロとなり、前年同期を 2,900 万ユーロ上回って、伸び率が実に 121%となった。

5. 財務基盤

2010年に回復を示した財務基盤は2011年度上半期にさらに強固なものとなり、自己資本は2010年末に比べて4.5%増の14億ユーロとなった。コファスの格付はフィッチがAA-(安定的な見通し)、ムーディーズがA2(安定的な見通し)であり、これは世界の取引信用保険市場におけるコファスの強い競争力が評価されたものである。

自己資本の増加にともなって負債比率は低下し、2010年12月末の17%から2011年6月末には6%となった。

コファスの CEO(最高経営責任者)であるジャン=マルク・ピルは以下のように述べている:「黒字回復した 2010 年度に続いて 2011 年度上半期も、売上の伸びの加速と、コンバインドレシオの急低下と、純利益の倍増によって業績は大きく改善された。この変化は、これまでもコファスの自主的で利益率の高い発展を支えてきた取引信用保険にあらためて集中するという我々の決定をいっそう強めるものである。」

本リリースに関するお問合せ先: コファス・サービス・ジャパン株式会社 広報担当 ジョナタン・ペレズ

Tel: 03-5521-2175 / Fax: 03-5521-2179 / メール: jonathan_perez@coface.com

■コファスとは

コファス・グループは、信用保険の分野における世界的リーダーとして、全世界の企業に売掛債権管理のソリューションを提供しています。2010年、同グループは16億ユーロの連結売上高を計上しました。66カ国における6,400名のスタッフが世界中で現地サービスを提供しています。コファスは四半期毎に、企業の支払振りに関する独自の知見とその250名のアンダーライターたちの専門知識に基づいて、156カ国についてのカントリー・リスク評価を発表しています。

フランスでは、コファスは国に代わって輸出保証を行なっています。

コファスは、Natixisの子会社ですが、親会社の株式資本金は2010年末現在で168億ユーロとなっています。

www.coface.jp